



脚本・絵 ぶくやま くみこ

「いごうよ!産直市」

①

ぼくのおじいちゃんやさいづくは野菜作りの名人!
近所の「産直市」さんちよくいちに自慢の野菜やさいを出して
るよ。

「産直市」さんちよくいちっていうのは
農家の人たちが自分じぶんで作った野菜やさいやくだも
のを
持ち寄もよって売うっている「地産地消」ちさんちしょうのお店みせ
のこと

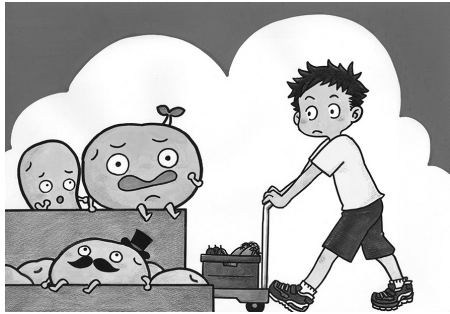
「地産地消」ちさんちしょうは「地域ちいきで作つくった野菜やさいを
その地域ちいきで消費しょうひすること」だよ

ぼくもときどき畑はたけから「産直市」さんちよくいちへ
野菜やさいをももって行くいお手伝てつだいをしてるんだ。

(ぬく)

演出ノート

演じる場所によって最寄りの産直市の名称や地名に変えて読みあげても良いです。



②

ある日、おじいちゃんといっしょに
産直市へ野菜を持っていったら
じゃがいも売り場からすっごく大きなため
息が聞こえてきたんだ。

(じゃがいも①)

「あ〜あ…どうしたのかなあ」

(男の子)

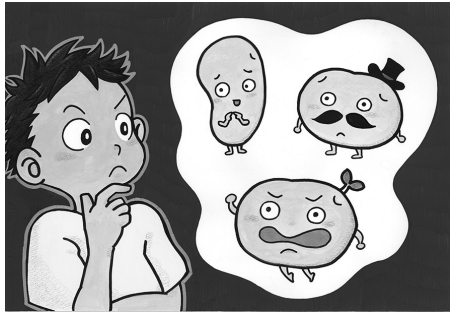
「どうしたの?」

(じゃがいも①)

「悩みがあるんだよ。聞いてくれる?」

(ぬく)

(じゃがいも①)
物憂げな感じで



③

(じゃがいも①)

「ぼくたち、じゃがいもって

みんなよく似てるんだけど、

実はそれぞれ違うの知ってる？」

(じゃがいも②)

「味とかもちがうし

得意なお料理も全然違うんだよ」

(じゃがいも③)

「こんなふうに

みんな一緒にならべられちゃうとさ…

ほんとの美味しさや良いところが

伝わってない気がするんだよね…」

(男の子)

「なるほど。それはもったいないね

そうだ、いい考えがあるぞ！」

(ぬく)

じゃがいもたち
悲しそうに

じゃがいも品種

① 「デジマ」

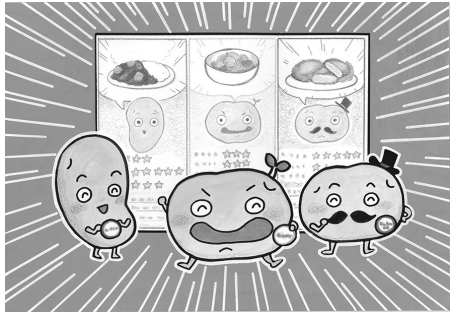
② 「男爵」

③ 「メークイン」

を想定していますが品種
は限定しません。

(男の子)

閃いた感じで



④

次の日、

ぼくはじゃがいもくんたちの名札と
それぞれの違いや特徴、
得意なお料理を書いた看板を作っ
持っていたよ

(じゃがいもたち)

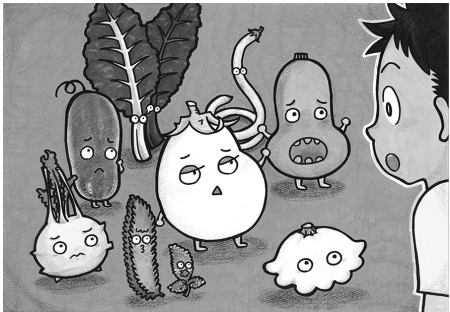
「わーい！」

これならぼくらそれぞれのいいところが
ちゃんと伝わるぞ！」

じゃがいもくんたちは大喜び

(ぬく)

(じゃがいも)
みんなが喜ぶのを感じるから



⑤

(「????」)

「いいなあ。ぼくたちも紹介してほしいなあ」

声がするほうをみると、

ちよつと珍しい野菜が集まってきていたんだ

(男の子)

「どうしたの?」

(白ナス)

「ぼくたち珍しい野菜はお店にならんでも
なかなか手に取ってもらえないのが悩みな
の」

(青大きゅうり)

「名前を知らない人も多いし」

(バターナッツ)

「食べてもらえれば美味しさが伝わるのに
なあ」

(コールラビ)

「お料理方法がわからないって言われちゃうの」
それを聞いたおばあちゃん

(ぬく)

登場する珍しい野菜の品
種は以下の通り。

「バターナッツ」

「UFOSツッキー」

「ささげ豆」

「白ナス」

「スイスチャード」

「アイスプラント」

「シカクマメ」

「コールラビ」

「青大きゅうり」もしくは
伝統野菜「加賀太きゅう
り」のような伝統野菜に
あたるきゅうり

(白ナス)

深刻そうに

(青大きゅうり)

悲しそうに

(バターナッツ)

残念そうに

(コールラビ)

泣きそうな声で



⑥

(おばあちゃん)

「わたしにまかせて！」

そういうとおばあちゃんは友達を集めて
おいしい食べ方を書いたチラシを作ったり
お店の人と協力して
試食コーナーを作っちゃった

(珍しい野菜たち)

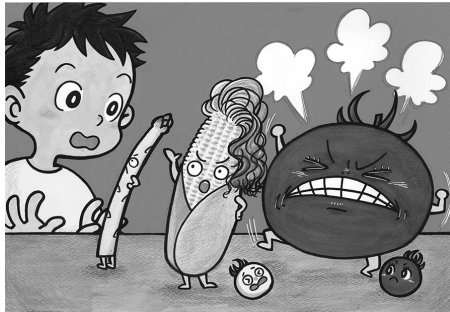
「これならたくさんの人に知ってもらえる！」
「お家でも楽しく料理してもらえそう！」

珍しい野菜たちは大喜び

(ぬく)

(おばあちゃん)
でーんと頼りになる感じ

(珍しい野菜)
とてもうれしそうに



⑦

(大玉トマト)

「じゃがいもたちや

珍しい野菜たちばかりひいきしてずるいわ

あたしたちも紹介してよ」

今度はトマトが顔を真っ赤にして

ぶんぶん文句を言ってきた

トウモロコシもアスパラガスもなんだか

不満そう

(男の子)

「君たちは紹介しなくても

みんな知ってる人気者ばかりじゃない?」

(大玉トマト)

「そうだけど!まだみんな知らない

地元産ならではのいいところいっぱいあるのよ」

(トウモロコシ)

「畑が近いから新鮮さには自信があるんだ!」

(アスパラガス)

「地域の特産品としての美味しさと

栄養満点の秘訣は色んな工夫にあるんだよ」

それを聞いたおじいちゃん

(ぬく)

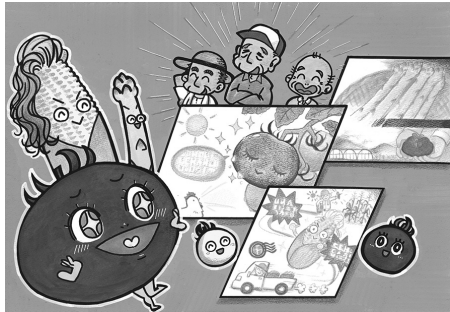
嫉妬した感じで

(大玉トマト)

憤った感じでちょっと
悔しそうに

(トウモロコシ)

(アスパラガス)
プライドと自信を持った
口調で



⑧

のうかなかま きょうりよく
農家仲間と協力して

じもとさん

地元産のいいところや美味しさの秘密、

いろいろな工夫を紹介する看板を作ったよ

(大玉トマト)

「いいわあ！すつごくステキ！」

かんじゆく

完熟トマトの美味しさが良く表れてるわ！」

(アスパラガス)

「そうそう、ふかふかの土で

つち

のびのび大きくなったから

えいよう

栄養たっぷりだよ！」

(トウモロコシ)

「朝どれ…産地直送のスピード感…！」

しんせん

新鮮さが伝わるね！」

(おじいちゃんたち)

「大事に育てた野菜たちだから

だいじ

そだ

やさい

わしらの工夫や手間暇も知ってもらえると

くふう

てまひま

し

やりがいがあるなあ」

おじいちゃんたちもニコニコ。

(ぬく)

(大玉トマト)
うっとりした口調

(アスパラガス)
満足気に

(トウモロコシ)
イケイケな口調



⑨

近頃ではお店で声をかけられることも増え
たよ

(お客さん)

「いつも新鮮な野菜をありがとう」

「美味しい食べ方や選び方が

よくわかるので助かるわ」

「珍しい野菜も食べてみると美味しくって

大好きになったわ」

「いつも見てる畑でとれた野菜や果物だから

新鮮だし、何より安心して食べられるわ」

「お買い物に来ると、

知ってる人の野菜がないか、

ついつい探しちゃうのよね」

こんな時のおじいちゃんは照れくさそうだが
けどすっごく嬉しそう！

(ぬく)

いろいろなお客さんから
の声なので、セリフごと
に少し声色を変えたり、
演じる場所によってアレ
ンジしても良いです。



⑩

自分たちの作った野菜を喜んでくれる人が
たくさんいることがわかって、
おじいちゃんたちは前よりもっとやる気が
わいてきたんだって

次はどんな野菜を作ろうかな
人気が出てきた野菜を

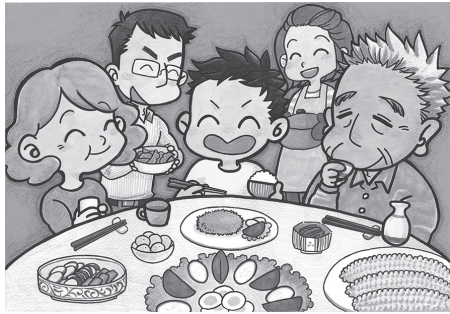
もっとたくさんつくろうかな

もっと美味しい野菜がたくさんできるよ
うに

工夫しようかなって

仲間みんなといつも楽しそうにお話して
るよ

(ぬく)



⑪

おじいちゃんおじいちゃんの畑はたけでとれる野菜やさいは
季節きせつごとにどんどんどんどん変わるか

お父とうさんもお母かあさんも「旬しゅん」の野菜やさいを
いろいろりょうりな料理りょうりにするのが楽たのしいみたい

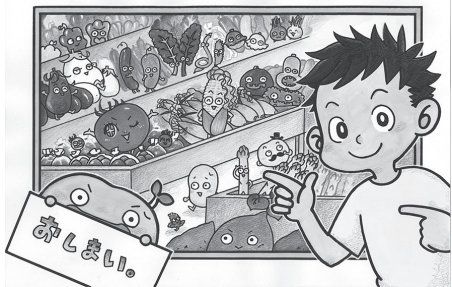
「旬しゅん」っていうのは

「野菜やさいや果物くだものがたくさんできて

いちばんいちばんおいおいしくて栄養えいようたっぷりの時期じき」のこと

ばくも旬しゅんの美味おいしい野菜やさいがたくさん食たべら
れて、すっごくすごくしあわせ！

(ぬく)



⑫

みんなの周りではどんなお野菜を作ってるかな？

「地産地消」のお店、「産直市」に行けば季節ごとに地元産の「旬」の野菜やくだものに出会えるから、ぜひ探しに来てね！
みんな、まってるよ！

おしまい

「産直市」
「地産地消」
「旬」などのキーワードについて、振り返りの時間を設けたり、産直市を見学しに足を運んでみましょう。